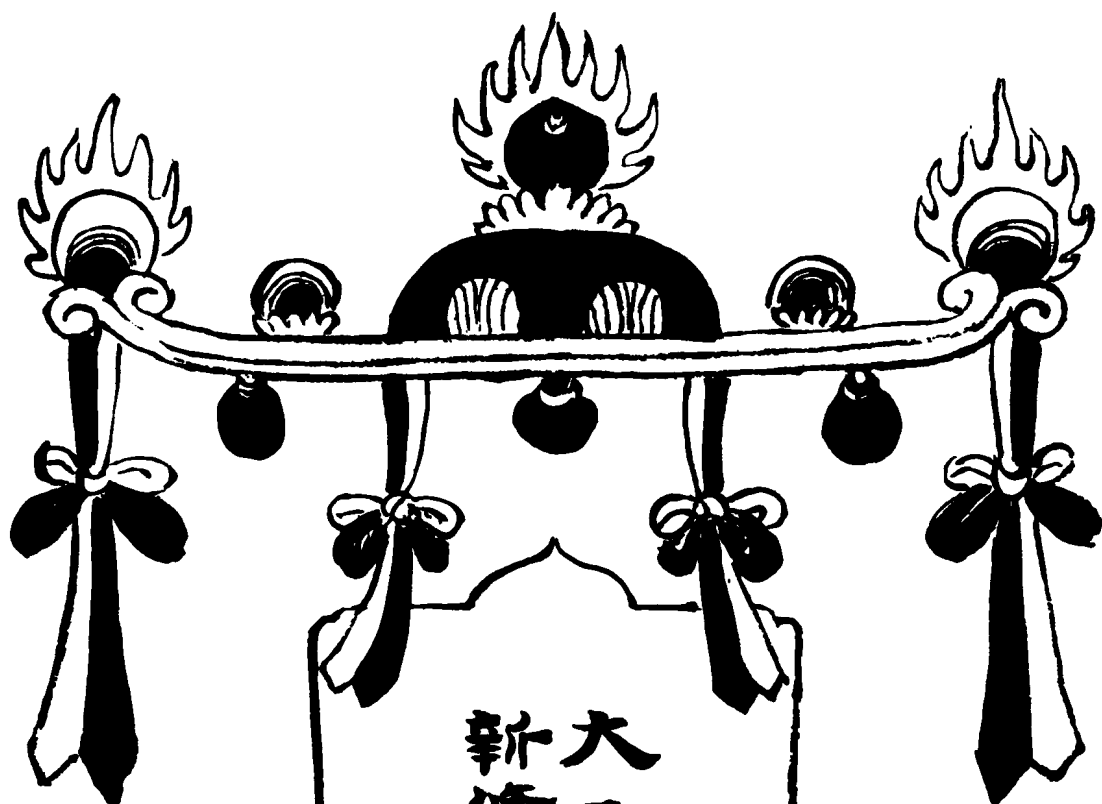




大正
新脩

大
藏
經



略 符 (Abbreviations)

- ㊦ 宋,元,明,三本 (The 'Three Editions' of the Sung, the Yuan and the Ming dynasties)
- ㊦ 宋本 (The 'Sung Edition' A. D. 1239)
- ㊦ 元本 (The 'Yuan Edition' A. D. 1290)
- ㊦ 明本 (The 'Ming Edition' A. D. 1601)
- ㊦ 麗本 (The 'Kao-Li Edition' A.D.1151)
- ㊦ 麗本別刷 (Another print of the Kao-Li Edition)
- ㊦ 正倉院聖語藏本(天平寫經) (The Tempyō Mss. [A.D. 729-] and the Chinese Mss. of the Sui [A.D.581-617] and Tang [A.D. 618-822] dynasties, belonging to the Imperial Treasure House Shōsō-in at Nara, specially called Shōgo-zō)
- ㊦ 正倉院聖語藏本別寫 (Another copy of the same)
- ㊦ 宮内省圖書寮本(舊宋本) (The Old Sung Edition [A. D. 1104-1148] belonging to the Library of the Imperial Household)
- ㊦ 大徳寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Daitoku-ji')
- ㊦ 萬徳寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Mantoku-ji')
- ㊦ 石山寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Ishiyama-dera')
- ㊦ 知恩院本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Chion-in')
- ㊦ 醍醐寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Daigo-ji')
- ㊦ 仁和寺藏本 (Ninnaji Mss. by Kūkai and others, C. 800. A.D.)
- ㊦ 東大寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Tōdai-ji')
- ㊦ 中村不折氏藏本 (Mr. Nakamura's Mss. from Tun-huang)
- ㊦ 久原文庫本 (The Tempyō Mss. belonging to the Kuhara Library)
- ㊦ 森田清太郎氏藏本 (The Tempyō Ms. owned by Mr. Seitaro Morita)
- ㊦ 敦煌本 (Stein Mss. from Tun-huang)
- ㊦ 西福寺本 (The Tempyō Mss. of the monastery 'Saifuku-ji')
- ㊦ 東京帝室博物館本 (The Chinese Mss. of the Tang dynasty belonging to the Imperial Museum of Tokyo)
- ㊦ 縮刷本 Tokyo edition (small typed)
- ㊦ 金剛藏本 (The Mss. preserved in the Kongō-zō Library, Tōji, Kyoto)
- ㊦ 高野版本 (The Edition of Kōya-san, C. 1250 A. D.)
- ＝ 作(異文……ニ作ル, 'Various reading')
- 例 (a) 得元明俱作相トスベキヲ得＝相㊦㊦ (i. e. The Yuan and the Ming Editions read 相 for 得)
- (b) 一切衆生依得生長＝諸衆生等依得生トスベキヲ(一切…長)八字＝(諸衆生等依得生)七字(i. e. For the eight letters (一切…長) read the seven letters (諸衆生等依得生)).
- － 無(異本＝〔……〕無シ, 'Omit' 'diest')
- 例 宋元俱無心字トスベキヲ〔心〕－㊦㊦ (i. e. The Sung and the Yuan Editions omit 心)
- ＋ 有(異本＝〔……〕有シ, 'add')
- 例 (a) 我下三本俱有時於彼遇值世尊七字トスベキヲ 我＋(時於彼遇值世尊)㊦
- (i. e. The Three Editions add 時於彼遇值世尊 after 我)
- (b) 算上三本俱有我時於彼遇值世七字トスベキヲ (我時於彼遇值世)＋尊㊦
- (i. e. The Three Editions add 我時於彼遇值世 before 尊)
- * 下同(以下之ニ同シ, 上ニ同シ 'So below,' 'So above,' 'et passim')
- 例 本文(Text) 世尊正 ㊦遊知
- 註 (Note) 遊三本俱作遍下同トスベキヲ ㊦遊＝遍㊦* (i. e. The Three Editions read 遍 for 遊, so also below)
- … 畧(字句省略, 'Letters or Sentences left out,' 'down to')
- 例 (a) 彼依此處觀覺興衰八字トスベキヲ (彼依…興衰)八字(i. e. 'From 彼依 down to 興衰, eight letters.')
- (b) 已上三本俱無彼依乃至興衰八字トスベキヲ〔彼依…興衰〕八字－㊦ (i. e. 'From 彼依 down to 興衰, eight letters are left out in the Three Editions.')
- ㊦ 異同(卷品ノ同異, 'Various division'), (文章ノ出入, 'Various sentence')
- ㊦ 位置ノ轉換 ('Interchange of position')

巴利語書名略號
(Abbreviations of Titles of Pāli Works)

A.	Aṅguttara-nikāya (Morris-Hardy ed. P. T. S.)
Ud.	Udāna (Steinthal ed. P. T. S.)
It.	Itivuttaka (Windisch ed. P. T. S.)
Kh.	Khuddaka-pāṭha (Childers ed.)
Jā.	Jātaka (Fausbøll ed.)
Th. 1.	Thera-gāthā (Oldenberg ed. P. T. S.)
Th. 2.	Therī-gāthā (Pischel ed. P. T. S.)
D.	Dīgha-nikāya (Rhys Davids-Carpenter ed. P. T. S.)
Dh.	Dhamma-pada (Fausbøll ed.)
Nd.	Niddesa (Stede ed. P. T. S.)
Pv.	Peta-vatthu (Minayeff ed. P. T. S.)
By.	Buddha-vaṃsa (Morris ed. P. T. S.)
M.	Majjhima-nikāya (Trenckner-Chalmers ed. P. T. S.)
Vin.	Vinaya-piṭaka (Oldenberg ed.)
Vv.	Vimāna-vatthu (Gooneratne ed. P. T. S.)
S.	Samyutta-nikāya (Feer ed. P. T. S.)
Sn.	Sutta-nipāta (Anderson-Smith ed. P. T. S.)
Sumv.	Sumaṅgala-vilāsinī (Carpenter, J. P. T. S. 1835)
Samp.	Samanta-pāsādikā (Takakusu-Nagai ed. P. T. S.)
~	Pāli equivalent.

目次

一四四八	根本說一切有部毘奈耶藥事(十八卷)	唐	義淨	譯	九七	
一四四九	根本說一切有部毘奈耶羯恥那衣事(一卷)	唐	義淨	譯	九九	
一四五〇	根本說一切有部毘奈耶破僧事(二十卷)	唐	義淨	譯	二〇七	
一四五一	根本說一切有部毘奈耶雜事(四十卷)	唐	義淨	譯	四一五	
一四五二	根本說一切有部尼陀那目得迦(十卷)	唐	義淨	譯	四五五	
(一) 尼陀那(一五)……………四一五						
一四五三	根本說一切有部百一羯磨(十卷)	唐	義淨	譯	五〇〇	
一四五四	根本說一切有部戒經(一卷)	唐	義淨	譯	五一七	
一四五五	根本說一切有部苾芻尼戒經(一卷)	唐	義淨	譯	五二〇	
一四五六	根本說一切有部毘奈耶尼陀那目得迦攝頌(一卷)	唐	義淨	譯	五二五	
一四五七	根本說一切有部略毘奈耶雜事攝頌(一卷)	唐	義淨	譯	五三二	
一四五八	根本薩婆多部律攝(十四卷)	尊者勝友造	唐	義淨	譯	五三二
初釋波羅底木叉經序(二)……………五三二						
總釋學處(三)……………五三二						
〔初部〕						
(一) 四波羅市迦法……………五三二						
1 不淨行學處(三)……………五三二						
2 不與取學處(三)……………五三二						

Wt147/04

3	斷人命學處(三)	五三七
4	妄說自得上人法學處(三)	五二九

〔第二部〕

(一) 十三僧伽伐尸沙法

1	故泄精學處(三)	五四〇
2	觸女學處(三)	五四一
3	說鄙惡語學處(三)	五四一
4	索供養學處(三)	五四二
5	媒嫁學處(三)	五四二
6	造小房學處(三)	五四三
7	造大寺學處(三)	五四四
8	無根謗學處(三)	五四五
9	假根謗學處(三)	五四六
10	破僧伽連諫學處(三)	五四六
11	助伴破僧伽連諫學處(三)	五四六
12	汚家連諫學處(三)	五四七
13	惡性連諫學處(三)	五四八
(二)	二不定法(五)	五四〇

〔第三部〕

(一) 三十泥薩祇波逸底迦法

1	有長衣不分別學處(三)	五五一
2	離三衣學處(三)	五五五
3	一月衣學處(三)	五五五
4	使非親尼浣故衣學處(三)	五五六
5	取非親尼衣學處(三)	五五六
6	從非親居士婦乞衣學處(三)	五五七
7	過量乞衣學處(三)	五五七
8	知俗人許與衣就乞學處(三)	五五七
9	勸共作衣學處(三)	五五八

(二) 九十波逸底迦法

10	過限索衣學處(六)	五五八
11	用野蠶絲作敷具學處(六)	五五九
12	用純黑羊毛作敷具學處(六)	五五九
13	過分數作敷具學處(六)	五五九
14	減六年作新敷具學處(六)	五五九
15	作新尼師但那不用故帖學處(六)	五五九
16	自擔羊毛過三踰膳那學處(六)	五五九
17	使非親尼治羊毛學處(六)	五六〇
18	捉金銀等學處(六)	五六〇
19	出息求利學處(六)	五六〇
20	賣買學處(六)	五六一
21	畜長針過十日不分別學處(七)	五六一
22	乞鉢學處(七)	五六二
23	自乞糲使非親織師織作衣學處(七)	五六三
24	勸非親織師織衣學處(七)	五六三
25	奪衣學處(七)	五六三
26	過後畜急施衣學處(七)	五六三
27	在阿蘭若處過六夜離衣學處(七)	五六四
28	預前求過後用雨浴衣學處(七)	五六四
29	迴衆物入己學處(七)	五六六
30	服過七日藥學處(七)	五六九
(三)	九十波逸底迦法	五七二
1	故妄語學處(六)	五七二
2	毀譽語學處(六)	五七三
3	離間語學處(六)	五七三
4	發舉殄諍羯磨學處(六)	五七三
5	與女人說法過五六語學處(六)	五七四
6	與未近圓人同讀誦學處(六)	五七五
7	向未近圓人說他僿罪學處(六)	五七五

36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8
別衆食學處 (一〇).....	勸足食學處 (一〇).....	足食學處 (一〇).....	過三鉢受食學處 (一〇).....	施一食過受學處 (一〇).....	展轉食學處 (一〇).....	知苾芻尼讚歎得食學處 (一〇).....	獨與尼屏處坐學處 (一〇).....	獨與女人屏處坐學處 (一〇).....	與苾芻尼同乘一船學處 (一〇).....	與苾芻尼同道行學處 (一〇).....	與非親尼作衣學處 (一〇).....	與非親尼衣學處 (一〇).....	謗他爲飲食故教授學處 (一〇).....	教授至日暮學處 (一〇).....	衆不差教授苾芻尼學處 (一〇).....	造大寺過限學處 (一〇).....	用蟲水學處 (一〇).....	故放身坐臥脫脚床學處 (一〇).....	強惱觸他學處 (一〇).....	牽他出僧房學處 (二).....	不舉草敷具學處 (二).....	不舉敷具學處 (二).....	違惱言教學處 (二).....	嫌毀輕賤學處 (二).....	壞生種學處 (二).....	輕呵戒學處 (二).....	謗迴衆利物學處 (二).....	實得上人法向未近圓人說學處 (二).....
五八五	五八五	五八五	五八四	五八四	五八四	五八三	五八三	五八三	五八三	五八二	五八二	五八二	五八二	五八一	五八一	五八一	五八一	五八〇	五八〇	五七九	五七八	五七七	五七七	五七六	五七六	五七六	五七六	五七六

65	64	63	62	61	60	59	58	57	56	55	54	53	52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37
與女人同室宿學處 (三).....	水中戲學處 (三).....	以指擊擲他學處 (三).....	故惱苾芻學處 (三).....	殺傍生學處 (三).....	非時浴學處 (三).....	捉寶學處 (三).....	著不壞色衣學處 (三).....	攝受惡見求寂學處 (三).....	隨捨置人學處 (三).....	不捨惡見違諫學處 (三).....	與未近圓人同室宿過二夜學處 (三).....	與欲已更遮學處 (三).....	觸火學處 (二).....	共至俗家不與食學處 (二).....	覆藏他龜罪學處 (二).....	以手擬苾芻學處 (二).....	打苾芻學處 (二).....	動亂兵軍學處 (二).....	軍中過二宿學處 (二).....	觀軍學處 (二).....	與無衣外道男女食學處 (二).....	有食家強立學處 (二).....	有食家強坐學處 (二).....	受用有蟲水學處 (二).....	索美食學處 (二).....	不受食學處 (二).....	食會觸食學處 (二).....	非時食學處 (二).....
五九五	五九五	五九五	五九五	五九四	五九四	五九三	五九三	五九二	五九二	五九二	五九一	五九一	五九一	五九〇	五九〇	五九〇	五九〇	五九〇	五九〇	五八九	五八九	五八九	五八八	五八八	五八七	五八七	五八六	五八六

66	恐怖苾芻學處(二).....	五九六
67	藏他衣鉢學處(二).....	五九六
68	他寄衣不問主輒著學處(二).....	五九六
69	以衆教罪謗清淨苾芻學處(二).....	五九六
70	與女人同道行學處(二).....	五九七
71	與賊同道行學處(二).....	五九七
72	與減年者受近圓學處(二).....	五九七
73	壞生地學處(二).....	六〇〇
74	過四月索食學處(二).....	六〇〇
75	遮傳教學處(二).....	六〇一
76	默聽評論學處(二).....	六〇一
77	不與欲默然起去學處(二).....	六〇一
78	不恭敬學處(二).....	六〇一
79	飲酒學處(二).....	六〇二
80	非時入聚落不嚼苾芻學處(二).....	六〇二
81	食前食後詣餘家學處(二).....	六〇二
82	入王宮學處(二).....	六〇二
83	不攝耳聽戒作不知語學處(二).....	六〇三

一四五九 根本說一切有部毘奈耶頌(三卷)

受近圓事及苾芻等要行軌式(上).....	六一七
(一) 初 部	六二〇
1 四他勝法(上).....	六二〇
(二) 第二部	六二三
1 十三僧伽伐尸沙法(上).....	六二三
2 二不定法(上).....	六二五
(三) 第三部	六二六
1 三十捨墮法(上).....	六二六

尊者毘舍佉造.....唐 義 淨 譯.....六一七

84	用牙角作針筒學處(二).....	六〇三
85	過量作床學處(二).....	六〇三
86	草木綿貯床學處(二).....	六〇三
87	過量作尼師但那學處(二).....	六〇四
88	過量作覆瘡衣學處(二).....	六〇四
89	過量作雨浴衣學處(二).....	六〇四
90	與佛等過量作衣學處(二).....	六〇四
[第四部]		
(一) 四波羅底提舍尼法		六〇四
1	從非親尼受食學處(二).....	六〇四
2	受尼指授食學處(二).....	六〇四
3	學家受食學處(二).....	六〇五
4	阿蘭若住處外受食學處(二).....	六〇五
[第五部]		
(一) 衆 學 法(二).....		六〇五
(二) 七滅譯法(二).....		六〇七
(三) 七佛略教法(四).....		六〇八
2	九十波逸底迦法(中).....	六三一
(四) 第四部		六三四
1	四別悔法(中).....	六三四
(五) 第五部		六三四
1	衆 學 法(中).....	六三四
2	七滅譯法(中).....	六四五
十七跋窣覩等中要事(下).....		六四六

一四六〇	解脫戒經(一卷)	元魏般若流支譯	六五九
一四六一	律二十二明了論(一卷)	陳真諦譯	六六五
一四六二	善見律毘婆沙(十八卷)	蕭齊僧伽跋陀羅譯	六七三
一四六三	毘尼母經(八卷)	失譯	八〇一
一四六四	鼻奈耶(十卷)	姚秦竺佛念譯	八五一
	(一)波羅夷法(一三)	失	八五一
	(二)僧殘法(三一)	失	八六一
	(三)二不定及三十捨墮法(三)	失	八七四
一四六五	舍利弗問經(一卷)	失譯	八九九
一四六六	優波離問佛經(一卷)	宋求那跋摩譯	九〇三
一四六七	佛說犯戒罪報輕重經(一卷)	後漢安世高譯	九一〇
一四六八	佛說目連所問經(一卷)	宋法天譯	九一一
一四六九	佛說迦葉禁戒經(一卷)	宋沮渠京聲譯	九一二
一四七〇	大比丘三千威儀(二卷)	後漢安世高譯	九一二
一四七一	沙彌十戒法并威儀(一卷)	失譯	九二六
一四七二	沙彌威儀(一卷)	宋求那跋摩譯	九三二
一四七三	佛說沙彌十戒儀則經(一卷)	宋施護譯	九三五
一四七四	沙彌尼戒經(一卷)	失譯	九三七
一四七五	沙彌尼離戒文(一卷)	失譯	九三八
一四七六	佛說優婆塞五戒相經(一卷)	宋求那跋摩譯	九三九

一四七七 佛說戒消災經（一卷）……………吳支謙譯……………九四四

一四七八 大愛道比丘尼經（二卷）……………失譯……………九四五

一四七九 佛說苾芻五法經（一卷）……………宋法天譯……………九五五

一四八〇 佛說苾芻迦尸迦十法經（一卷）……………宋法天譯……………九五六

一四八一 佛說五恐怖世經（一卷）……………宋沮渠京聲譯……………九五七

一四八二 佛阿毘曇經 出家相品第一（二卷）……………陳真諦譯……………九五八

一四八三 佛說目連問戒律中五百輕重事（一卷）……………失譯……………九七二

（一）五篇事品……………九七二

（二）佛事品……………九七二

（三）法事品……………九七三

（四）結界法品……………九七四

（五）歲坐事品……………九七四

（六）度人事品……………九七五

（七）受戒事品……………九七六

（八）受施事品……………九七六

（九）疾病事品……………九七七

（一〇）比丘死亡事品……………九七七

（一一）三衣事品……………九七八

（一二）鉢事品……………九七八

（一三）雜事品……………九七八

（一四）三自歸事品……………九八二

（一五）五戒事品……………九八二

（一六）十戒事品……………九八二

（一七）沙彌品……………九八二

（一八）歲坐竟懺悔文……………九八三

一四八四 梵網經 盧舍那佛說菩薩心地戒品第十（二卷）……………後秦鳩摩羅什譯……………九九七

一四八五 菩薩瓔珞本業經（二卷）……………姚秦竺佛念譯……………一〇一〇

（一）集眾品（上）……………一〇一〇

（二）賢聖名字品（上）……………一〇一一

（三）賢聖學觀品（上）……………一〇一二

（四）釋義品（下）……………一〇一七

（五）佛母品（下）……………一〇一八

（六）因果品（下）……………一〇一九

（七）大衆受學品（下）……………一〇二〇

（八）集散品（下）……………一〇二二

一四八六 受十善戒品(一卷).....失 譯.....一〇二三

(一)十惡業品.....一〇三三 (二)十施報品.....一〇三四

一四八七 佛說菩薩內戒經(一卷).....宋 求那跋摩譯.....一〇二八

一四八八 優婆塞戒經(七卷).....北涼 曇無讖譯.....一〇三四

- | | |
|------------------------|-------------------------|
| (一)集會品(一).....一〇三三 | (二)淨戒品(三).....一〇五〇 |
| (二)發菩提心品(一).....一〇三五 | (三)息惡品(三).....一〇五一 |
| (三)悲品(一).....一〇五五 | (四)供養三寶品(三).....一〇五一 |
| (四)解脫品(一).....一〇五六 | (五)六波羅蜜品(四).....一〇五二 |
| (五)三種菩提品(一).....一〇三八 | (六)雜品(甲一五).....一〇五四 |
| (六)修三十二相業品(一).....一〇三八 | (七)淨三歸品(三).....一〇六一 |
| (七)發願品(三).....一〇四〇 | (八)八戒齋品(五).....一〇六三 |
| (八)名義菩薩品(三).....一〇六一 | (九)五戒品(六).....一〇六二 |
| (九)義菩薩心堅固品(三).....一〇六一 | (十)尸波羅蜜品(六).....一〇六五 |
| (一〇)自利利他品(三).....一〇六一 | (十一)業品(六—七).....一〇六六 |
| (一一)自他莊嚴品(三).....一〇六二 | (十二)屬提波羅蜜品(七).....一〇七二 |
| (一二)二莊嚴品(三).....一〇六五 | (十三)毘梨耶波羅蜜品(七).....一〇七三 |
| (一三)攝取品(三).....一〇六六 | (十四)禪波羅蜜品(七).....一〇七四 |
| (一四)受戒品(三).....一〇六七 | (十五)般若波羅蜜品(七).....一〇七五 |

一四八九 清淨毘尼方廣經(一卷) [No. 1480].....後秦 鳩摩羅什譯.....一〇七五

一四九〇 寂調音所問經(一卷) [No. 1489].....宋 法海譯.....一〇八一

一四九一 菩薩藏經(一卷).....梁 僧伽婆羅譯.....一〇八六

一四九二 佛說舍利弗悔過經(一卷).....後漢 安世高譯.....一〇九〇

一四九三 大乘三聚懺悔經(一卷).....隋 闍那崛多共笈多等譯.....一〇九一

一四九四	佛說淨業障經（一卷）	失	譯	一〇九五
一四九五	善恭敬經（一卷）	隋	闍那崛多譯	一〇〇〇
一四九六	佛說正恭敬經（一卷）	元魏	佛陀扇多譯	一一〇一
一四九七	佛說大乘戒經（一卷）	宋	施護譯	一〇〇四
一四九八	佛說八種長養功德經（一卷）	宋	法護等譯	一〇〇四
一四九九	菩薩戒羯磨文（一卷）	唐	玄奘譯	一〇〇四
（一）受戒羯磨……………一〇〇 （二）懺罪羯磨……………一〇六 （三）得捨差別……………一〇六				
一五〇〇	菩薩戒本（一卷）	慈氏菩薩說	北涼曇無讖譯	一〇〇七
一五〇一	菩薩戒本（一卷）	彌勒菩薩說	唐玄奘譯	一一〇〇
一五〇二	菩薩受齋經（一卷）	西晉	聶道真譯	一一一五
一五〇三	優婆塞五戒威儀經（一卷）	宋	求那跋摩譯	一一一六
一五〇四	菩薩五法懺悔文（一卷）	失	譯	一一二一

根本說一切有部毘奈耶藥事
卷第一

大唐三藏義淨奉
制譯

初攝頌曰

開許用諸藥 膏油治疥病
眼藥及風癩 畢隣婆蹉等

爾時薄伽梵。在室羅伐城逝多林。給孤獨園。時諸苾芻秋時染疾。身體痿黃。羸瘦憔悴。困苦無力。世尊見已。知而故問阿難陀曰。何故諸苾芻。身體痿黃。羸瘦無力。阿難陀白佛言。大德。諸苾芻等。既侵秋節。遂染諸病。身體痿黃。羸瘦無力。佛告阿難陀。由是病苦。我今聽諸苾芻服食雜藥。如是世尊既聽服藥。時諸苾芻遂於時服。非時不服。身體尙衰。羸瘦無力。

爾時世尊知而故問阿難陀曰。我已聽諸苾芻服食諸藥。然此苾芻猶故羸瘦。阿難陀白佛言。世尊聽諸苾芻服食諸藥。此諸苾芻並於時服。非時不服。所以身體痿黃。羸瘦無力。爾時佛告阿難陀。我今爲諸苾芻開四種藥。一時藥。二更藥。三七日藥。四盡壽藥。言時藥者。一炒。二餅。三麥豆餅。四肉。五飯。此並時中合食。故名時藥。

言更藥者。謂八種漿。云何爲八。一招者漿。西方樹名。亦名顯咀梨。角同皂莢。其味如梅。角寬一兩指。長三寸。時人饌食二毛者漿。卽芭蕉子。以少胡椒拌。安在果上。手搥攪之。皆變成水。三孤洛迦

漿狀如酸漿。其味一種。
唯有此漿。無甜者。

四阿說他果。五鳥

雲跋羅如其果大六鉢魯灑子。其果狀如梨羹七殘栗隊

漿即是葡萄八渴樹羅漿形如小漿。甜而似蜜。樹多

皆須淨洗手。浮瀣漉。然後堪飲

內攝頌曰

椰子芭蕉及酸棗 阿說他果烏跋羅
 蓼萆蒲萄渴樹羅 是謂八種漿應識

七日藥者。酥油糖蜜石蜜。

盡壽藥者。謂根莖葉花果。復有五種膠藥。五種灰藥。五種鹽藥。五種澁藥。云何根藥。謂香

附子。菖蒲。黃蘗。生薑。白附子。若更有餘物

是此體例。堪爲藥者。隨意當用。莖藥者。栴檀

香藥。葛栢木。天木香。不死藤。小栢若餘體。

例，准前應用

藥者。三藥。謂破菜、麥、香加菜。此方

任婆棟木膏尋只此方及以餘頂佳而應用

糾望是也。高卒有杜無乃以飢寒死。前所見。

花藥者。謂婆舍迦花。紐婆花。陀得雞花。龍

花蓮花更有餘類應隨所用

果藥者。謂訶梨勒果。菴摩勒果。鞞醯得枳。

果。胡椒、葶芩。若有餘類。准前應用。

五種黏藥者。所謂阿魏。烏糖。紫礬。黃蠟。安

悉香。阿魏藥者。謂阿魏樹上出膠。烏糠者。謂

娑羅樹出膠。紫礦者。樹枝上出汁。黃蠟者。謂

蜜中殘出也。安悉香者。樹膠也。

五種灰者。謂鹽麥灰。曲麻灰。鹽麥貳灰。牛麥

五和方不謂麥冬方注厥方麥冬麥方牛膝
草天。麥香對葉天

草加。望。著。相。葉。方。

五種鹽者。謂烏鹽。赤鹽。白石鹽。種生鹽。海

鹽云何五種滋藥謂阿摩羅木栴木瞻部

木戶利沙木。高苦薄迦木。此中時藥者。謂於

時中服食。若更藥七日盡壽藥。若與時藥相和者。時中應服非時不應服。若更藥七日盡壽藥。與更藥相和者。齊初更分應服。過此不應服。若七日藥。與盡壽藥相和者。七日應服。若過七日。不應服。若盡壽藥。應盡壽守持而服。然此四藥相和從強而服。若無病。及病差。不應服。或捨與同梵行者。應如是守持。先洗淨手。受取其藥。對一苾芻踞踞執藥。作如是言。具壽存念。我茲芻某甲。有是病緣。此盡壽藥。我今守持。爲服用故。并同梵行者。如是三說。若七日藥。更藥。准此守持。

緣在室羅伐城。有一苾芻身患風疾。往醫人處。問曰。賢首。我患風疾。爲我處方。時彼醫人白言。聖者。宜可服有情脂。病當除差。苾芻報曰。賢首。我今豈合食此脂耶。醫人報曰。唯有斯藥。餘不能差。時諸苾芻以此因緣。具白世尊。佛言。苾芻有病。若醫人說唯此是藥。餘不能差者。應當服脂。時諸苾芻不知服何等脂。還問醫人。醫人報曰。汝師旣是一切智人。可往諮問。自當知之。

時諸苾芻卽往問佛。佛言。有五種脂。一者魚脂。二者江狍脂。三者鮫魚脂。四者熊脂。五者豬脂。此等五脂。非時煮。非時漉。非時受。非時守持。不應服。時煮。非時漉。非時受。非時守持。不應服。時煮。時漉。非時受。非時守持。不應服。時煮。時漉。時受。非時守持。不應服。時煮。時漉。時受。時守持。應服。如服油法。七日服。過七日不應服。彼病苾芻因此服脂。病遂除愈。愈已殘藥。遂便總棄。時有苾

芻復患風病。詣醫人處。問曰。賢首。我患風疾。爲我處方。醫人報曰。宜服脂藥。已有芻芻服脂得差。汝應就覓。而彼芻芻即往至前服藥。芻芻所問言。具壽。汝先服脂。風得除差。醫人教我。亦服此脂。汝有殘脂。見惠於我。芻芻曰。我所殘脂。並已棄却。告曰。汝今不善。非所應爲。時諸芻芻即以此緣。具白世尊。佛告諸芻芻。服殘脂藥。不應總棄。要須收舉。我今當說收舉法式。若芻芻所用殘脂。若餘芻芻來從求索者。應即相與。若無人求者。當送病坊。病坊好爲藏貯。若有須者。於彼處取。守持而服。不依教者。得越法罪。

緣處同前。時有芻芻身患瘡疥。詣醫人處。問曰。賢首。我患瘡疥。爲我處方。醫人報曰。聖者。宜服滋藥。當得病差。芻芻答曰。賢首。我。可是耽欲人耶。醫人報曰。此滋藥能治疥瘡。餘藥不差。芻芻問曰。當服何等滋藥。醫人答曰。聖者。汝師是一切智者。具知此事。諸芻芻等往白世尊。佛言。有五種滋藥。一者菴沒羅。二者紐婆。三者臙部。四者夜合。五者俱奢摩。芻芻應知。此等諸藥。或皮或葉。並應搗碎。水煮。塗身。塗已體更生瘡。佛告芻芻。應作散藥。芻芻濕搗。爲作一團。不爲碎鉢。佛言。不應濕搗。應曬使乾。諸芻芻於盛日中曬藥。遂令無力。佛言。不應於烈日中曬藥。芻芻陰乾。藥便衣生。佛言。可於微日中曬。諸芻芻等。滋藥塗身。即便沐浴。其藥墮落。不得藥力。佛言。待乾手摩。其藥入皮膚。然後沐浴。已更塗塗已更浴。瘡病得差。彼病芻芻瘡既

差已。所有殘藥。遂便棄擲。有餘芻芻。復患瘡疥。往醫人處。告曰。賢首。我患如是疾苦。爲我處方。醫人遂令塗滋藥。并更報言。某病芻芻先亦患瘡。今塗斯藥。可應就覓。芻芻即往問言。具壽。汝先用滋藥。我爲醫人遣用滋藥。汝若有殘藥。見惠於我。報言。所有殘藥。我已棄擲。芻芻報曰。不應如此棄不收舉。時彼芻芻以緣白佛。佛言。用滋藥者。應知行法。所用殘藥。不應棄擲。若有餘病芻芻求者。應與。若無求者。可送病坊。依法貯庫。病者應給。不依行者。得越法罪。緣在室羅伐城。時有芻芻患眼。遂往醫人處。問曰。賢首。我今患眼。爲我處方。醫人報曰。聖者。宜用安膳那藥。即應得差。芻芻報曰。我豈是愛欲之人。醫人報曰。聖者。此是好治眼藥。除此餘藥。不能療也。以此因緣。時諸芻芻往白世尊。佛言。若醫人言。此是治眼藥。餘不能療者。應當用安膳那。然彼芻芻不知用何安膳那。便問醫人。醫人報曰。聖者。汝師具一切智。應往問之。以斯緣故。時諸芻芻往白世尊。佛言。有五種安膳那。一者花安膳那。二者汁安膳那。三者林安膳那。四者九安膳那。五者騷毘羅石安膳那。此之五種。咸能療眼。是故芻芻若患眼者。應用安膳那。方得除差。病既差已。所有殘安膳那。遂便棄却。又有芻芻。亦復患眼。同前問醫。醫人還用安膳那藥。某甲芻芻。已曾患眼。先教用安膳那藥。可應詣彼求覓。此病芻芻。依言往問。具壽。我今患眼。有殘安膳那。不然。此芻芻即覓殘藥。不得報言。具壽。我之

殘藥。今覓不得。以此因緣。往白世尊。佛言。芻芻。若有殘安膳那。不應輒棄而不收舉。其安膳那行法。我今爲說安置法式。其安膳那。應置牢固處。花安膳那。置於銅器中。汁安小合內。林藥置在竹筒裏。後一一安置袋中。或以物裹。或於牆壁釘繫之。持安膳那。芻芻應依法式。不依行者。得越法罪。緣處同前。時有具壽西羯多芻芻。遂患風癩。隨處遊行。乃至婆羅門居士見已。自相問言。是誰家兒子。有人先識。告衆人曰。是某居士兒。衆人言曰。由是孤獨。令於沙門釋子教中出家。若不出家。親戚必當。爲療風疾。以此因緣。時諸芻芻往白世尊。佛言。諸芻芻。當爲西羯多芻芻問彼醫人。爲療風疾。時諸芻芻往醫人處。問曰。賢首。有一芻芻。患如是病。可爲處方。醫人曰。宜服生肉。必當得差。芻芻報曰。賢首。彼芻芻可是食肉人耶。醫人曰。聖者。此是治風病藥。除此藥已。餘不能療。時諸芻芻以緣白佛。佛言。若醫人說此爲藥。餘不能療。應與生肉。時諸芻芻便與生肉。彼人眼見。而不肯食。佛言。應以物掩眼。然後與食。時彼芻芻緣與。即除掩物。然病芻芻見手有血。遂便厭逆。佛言。不應即除繫物。待彼食訖。淨洗手已。別置香美飲食。方可除其掩繫。而告之曰。汝應食此美食。病可得差。差已。每憶斯藥。時諸芻芻以緣白佛。佛言。若病差已。如常順行。違者得越法罪。

緣在王舍城。時具壽畢隣陀婆瑳機出家已。多有諸疾。時諸芻芻皆來問說。具壽四體如

何答曰。甚不安隱。常有諸病。茲獨報曰。具壽。汝於昔來。常服何藥。答曰。我於昔時。畜雜藥。須時取服。諸茲獨曰。今何不服。答曰。世尊未許。時諸茲獨。以緣白佛。佛言。我今聽諸茲獨。應持藥。茲獨因此多畜諸藥。皆小不受。佛言。其藥作束。繫象牙杙上。藥便爛壞。佛言。隨時暴曬。彼於盛日之中。暴曬其藥。遂令無力。佛言。不應於赤日中暴曬。遂陰處曬。藥還爛壞。佛言。應陰乾處著。又被風雨來至。諸茲獨不敢收舉。佛言。使白衣求寂。此若無者。當自收舉。其觸著處去却。餘者應用。勿致疑惑。為難故開。無難不得。

緣在室羅筏城。時有具壽。頹離伐多。於一切時。不樂求覓。見者多疑。時諸茲獨。共號為頹離伐多。為少求故。其少求者。後於晨朝。著衣持鉢。入城乞食。次第行乞。遂聞壓甘蔗聲。因即往見。作沙糖團。以米粉相和。茲獨報曰。汝莫著粉和。其人問曰。可更有餘物。博沙糖不。茲獨答曰。我實不知。更有何物。然我等非時須食沙糖。所以不合著粉。報曰。聖者。時與非時。任食不食。此團除粉。餘物不中。茲獨遂去。後於一時。於非時分。衆中行沙糖團。然彼茲獨。疑不敢食。弟子問曰。鄔波駄耶。衆行沙糖。大衆皆食。何不食耶。報言。具壽。此中有時食難故。彼諸弟子亦復不食。時諸茲獨問曰。具壽。衆食沙糖。云何不食。報曰。我鄔波駄耶。言曰。有時食難故。聞者亦皆不食。頹離伐多。遂令衆人。多不肯食。時諸茲獨。以緣白佛。佛言。不由此故。而成於染。作法應爾。出

處淨故。應可食之。勿致疑惑。是時具壽頹離伐多。晨時著衣持鉢。入城乞食。次第行至香行鋪前。見人以麩塗手。遂搏沙糖。捉沙糖已。復麩塗手。茲獨見已。告曰。賢首。手既塗麩。勿把沙糖。我須非時食此沙糖。彼人報曰。聖者。誰復數數用水洗手。始得相觸。後彼茲獨。疑不敢食。弟子門人皆亦不食。事並同前。時諸茲獨。以緣白佛。佛言。彼本成染。即不堪食。本體淨故。食之無犯。

緣在室羅筏城。具壽舍利子。身嬰風病。具壽大目犍連。見其有疾。作如是念。我曾頻與舍利子看病。不問醫人。今應宜問。即往醫處。問言。賢首。具壽舍利子。患如是如是病。可為處方。醫人報曰。聖者。看其患狀。宜服鹽醋。當得除差。既求得醋。更欲求鹽。具壽畢隣陀婆蹉報曰。我先有鹽。貯之角內。盡壽守持。若世尊許服。我當相與。時具壽舍利子聞此語已。報大目連曰。我意有疑。盡形壽藥。若和時藥。非時不應服。時大目連以緣白佛。佛言。目連。若更藥七日。藥盡壽藥。與時藥相和。應作時服。非時不服。若七日盡壽。與更藥相和。應齊更分服。過此更分。不應服。若盡壽藥。與七日藥相和。應七日服。過七日。不應服。若盡壽與盡壽藥相和。應盡壽服。若不依者。得越法罪。

爾時世尊。在荻苗國。人間遊行。到波羅痾斯。仙人墮處。施鹿林中。於彼城內。有一長者。名曰大軍。富貴饒財。多諸受用。彼人有妻名大軍女。敬信三寶。賢善質直。意樂清淨。彼聞世

尊於荻苗國遊行。來到波羅痾斯。在仙人墮處。施鹿林中。聞已念曰。此應是我大師世尊。我雖頻為供養。由未周備。今以我現有家貨。悉持奉上。無上慈尊。略申供養。作是念已。即往佛所。到已禮足。退坐一面。

爾時世尊。為大軍長者。隨順說法。示教利喜。以種種方便。演妙法已。默然而住。

爾時大軍長者。既聞法已。心大歡喜。即從座起。偏袒右肩。合掌禮佛。而白佛言。唯願世尊。及茲獨衆。受我三月夏安居請。我以供養衣服飲食。臥具醫藥。

爾時世尊默然受請。是時長者見佛許已。生大歡喜。禮佛而去。時彼長者。供給世尊。三月安居。種種供養。及諸茲獨。無所闕乏。長者每日清旦。禮世尊足。即復觀察諸病茲獨。有一茲獨。身嬰重病。往問醫人。時彼醫人。令食肉羹。長者問曰。歸到家中。語其婦曰。賢首。有病茲獨。醫人令食肉羹。方能療疾。汝可為辦。宜速送往病茲獨處。時彼長者。即令小婢。將其錢物。往諸屠家。欲買其肉。即於此日。國王誕子。遂皆斷屠。若有犯者。與其重罪。假令貴買。亦不可得。時彼小婢。具以上事。白大家知。時長者婦。作是思惟。我於三月。供養世尊。及茲獨。所有家資。不令有乏。若今不得此藥。交恐茲獨。因斯命過。是不善。如是思已。即持利刀。入己房中。以割髀肉。授與小婢。令其細切。煮作羹。急送與彼病茲獨食。爾時小婢。即作送與。然病茲獨。得已便食。病遂除愈。彼病茲獨。亦復不知。是彼長者。妻割身肉。

便作是念。我既受此供養。不合空臥。我今宜可未得者。令得。未證者。令證。未解者。令解。發動精進。斷諸煩惱。得阿羅漢果。三明六通。具八解脫。得如實知。我生已盡。梵行已立。所作已辦。不受後有。心無障礙。如手搗空。刀割香塗。愛憎不起。觀金與土。等無差別。於諸名利。無不棄捨。釋梵諸天。悉皆恭敬。

爾時世尊於日初分。執持衣鉢。將諸大眾。往大軍舍。既至彼已。於大眾前。就座而坐。告長者曰。汝之少婦。今在何處。答言。室內。世尊威力不可思議。加護彼女。令於割處所有身肉。色相無差。平復如故。時長者妻於世尊所。生歡喜心。從房出已。詣世尊所。頂禮佛足。住立一面。佛告女曰。汝有何因。能於生死險道。發善薩行。女即合掌而說頌言。

輪迴生死中 是身易可得

百千俱胝劫 尊勝境難逢

爾時長者見佛世尊。及諸大眾。悉安坐已。即以清淨種種上美飲食。供養佛僧。皆令滿足。攝除食器。嚼齒木已。清淨洗手。是時長者更取小座。於一面坐。為聽法故。

爾時世尊。為長者說微妙法。示教利喜。無數方便演說法已。從座而起。還至本處。集諸苾芻。於大眾中就座而坐。告諸苾芻曰。食人肉者。眾所共嫌。於諸肉中。人肉最為臭穢可惡。故苾芻不應更食。若食人肉者。得穿吐羅底也罪。我今制眾中上座行法。然諸上座。凡眾食時。有人將肉欲行。應先問言。此是何肉。若上座老病。或無辯了。或不記憶。第二上座

應問。若上座不問。得越法罪。時諸苾芻心疑未了。請世尊曰。大軍長者妻自割身肉。供養

苾芻。遂令病差。由此因緣。深懷慚愧。精進不懈。便得漏盡。既食人肉。眾所譏嫌。於法有違。是可訶責。以何因緣。而得漏盡。佛告諸苾芻曰。然彼苾芻。非但此生受此女人供養。於過去世無量劫中。常以身肉。供此苾芻。由是因緣。今還以肉。而為供養。然此苾芻。於過去生。由此女人。獲得五通。於今生中。具足六通。證得漏盡。汝等諦聽。善思念之。吾當為汝廣說因緣。乃往昔時。波羅痾斯城中。有一長者。大富多財。仁義信順。其妻亦爾。有婆羅門。聰明博識。弟子圍繞。數盈五百。教讀明論。大富長者於彼婆羅門處。深起信心。便請此婆羅門。來至家。以諸所有而盡供養。乃至盡形。心無懈倦。是時大富長者為性慈愍。每於晨朝。遍觀徒眾。知其安不。其婆羅門。有一弟子。身遭疾苦。往問醫人。醫人報曰。當啖肉羹。爾時長者往摩納薄迦處。申慰問已。語言。汝身病苦。醫人遣服何藥。彼便報曰。令食肉羹。時彼長者問已還家。而報婦曰。有婆羅門子病苦。要須肉羹。可令小婢持錢往市。買肉作羹。送與令食。其日國王夫人誕子。遂勅斷屠。如有犯者。必加重罪。縱有錢物。無由買得。婢既歸還。具陳是事。其長者妻聞斯事已。便自思惟。我今已請婆羅門。來至家供養。此病摩納薄迦童子。於藥不得。必死無疑。是我之過。作斯念已。便入自房。手持利刀。即割腓肉。令婢作羹。送與病人。既食羹已。病尋除

差。患者思惟。今既斷肉。無由可得。必應是此長者之妻。自割其肉。而將施我。作是念已。深

生慚愧。復自思惟。我所未證者。令證。未得者。令得。所未顯示。精進不懈。今應作之。由精勤故。便得五通。汝等苾芻。勿生異念。昔時大富長者之妻。施肉者。豈異人乎。今此大軍長者夫人是。昔時病人者。今病苾芻是。於過去生。因此女人。施肉緣故。而獲五通。今時具足得阿羅漢果。佛告諸苾芻。若純黑業。得純黑報。若純白業。得純白報。若雜業。得雜報。是故諸苾芻。應捨黑業雜業。修純白業。緣在室羅筏城。時憍薩羅主勝光大王。有第一象。忽然疫死。年當飢饉。時婆羅門長者。及諸國人。皆食象肉。六眾苾芻。食時著衣持鉢。入室羅伐城。次第乞食。至長者家。然彼家中。現煮象肉。釜中氣出。入舍從乞。長者妻曰。我今無食。苾芻問曰。釜中氣出。是何物耶。妻曰。聖者。此是象肉。仁等豈可食象肉耶。答曰。我等唯憑施主而活。若汝等食象肉者。我等亦食。可將施我。妻即持肉。授與苾芻。得已盛滿鉢袋。攜之而去。有餘苾芻。見而問曰。仁鉢袋中。是何物耶。盛滿過度。答言。象肉。豈可仁等食象肉耶。答言。具壽。時屬飢饉。無食可求。豈得受飢。而自死耶。時諸苾芻。以緣白佛。佛言。汝等苾芻。天龍藥叉。人非人等。國王大臣。於諸苾芻。咸生恭敬。云何食噉王家象肉。王若聞時。必作是語。由諸苾芻。食象肉故。我第一象。因此而亡。遂生饑饉。是故苾芻。不應食象肉。若食者。得越法罪。象肉既爾。馬肉亦

然

爾時世尊。住瞻波城。揭伽池岸精舍而住。於彼池中有龍王。名曰瞻軍耶。信心賢善。每於月八日十四日。從宮而出。變作人形。詣茲芻所。受八支學處。受已於顯露處。還復本形。亦不損惱所餘衆生。時既飢餓。有羸瘦人。及牧牛羊人。并探樵人。遊行入。正道活命人。耶道活命人。此等諸人。共來剗割持歸而食。是時六衆茲芻。著衣持鉢。入城乞食。至長者家。然此家中。現煮龍肉。釜中氣出。即入舍從乞。長者妻曰。我今無食。茲芻問曰。釜中氣出。是何物耶。報言。聖者。此是龍肉。仁等豈可食龍肉耶。答言。我等唯憑施主而活。若汝等食者。我等亦食。可將施我。妻即持肉。授與茲芻。由此諸人更多取肉。時彼龍婦作如是念。由諸茲芻食龍肉故。人皆共食。欲遣我夫何時免受如斯苦痛。我以此緣。宜行問佛。既過初夜往詣佛所。禮佛足已。在一面坐。龍女身光。周遍照耀。揭伽池邊。悉皆明徹。時龍女合掌恭敬。白世尊言。大德。我之夫主。信心賢善。每於月八日十四日。從龍宮出。變作人形。詣茲芻所。受八支學處。於顯露處。還復龍身。亦不損惱所餘衆生。時逢儉歲。月彼飢人。共割其肉。因此茲芻皆取充食。欲遣我夫何時免苦。唯願世尊。慈念哀愍。制諸茲芻。勿食龍肉。爾時世尊。聞是語已。默然而住。是時龍女知佛默許。奉辭而退。爾時世尊至天明已。於大眾前。敷座而坐。告諸茲芻曰。於昨夜中。過初更已。有瞻波龍女。

光明赫奕。來至我所。既申禮敬。在一面坐。彼身威光。周遍照耀。揭伽池側。皆有光明。作如是語。大德。我之夫主。信心賢善。每於月八日十四日。從龍宮出。變作人形。受八支學。於顯露處。還復龍身。亦不損惱所餘有情。時遭儉歲。有諸飢人。割肉將食。因此茲芻亦食龍肉。欲遣我夫何時免苦。唯願世尊。制諸茲芻。勿食龍肉。生慈愍故。我聞是語。默然而住。時彼龍女見我默然。禮辭而去。是故請茲芻不應食龍肉。食龍者。諸天龍等。悉皆嫌賤。消滅善法。非釋迦子。是故請茲芻不應食龍肉。食者得越法罪。

根本說一切有部毘奈耶藥事卷第一

根本說一切有部毘奈耶藥事卷第二

大唐三藏義淨奉 制譯

佛在摩揭陀國。人間遊行。至王舍城。住羯闍鐸迦竹林園中。時影勝王。聞佛遊行。來到國界。聞已作是思惟。我願先時。頻供養佛。猶未曾請三月夏安居。以所有家資。總爲供養。作是念已。盡其所有。請佛及僧。三月安居供養。并遣侍縛迦醫王。供給所須病瘦醫藥。時影勝王作是念已。將諸臣佐。前後圍遶。從宮而出。往詣佛所。到已。稽首作禮。退坐一面。

爾時世尊爲王種種方便。說微妙法。示教利喜。默然而住。是時大王。從座而起。偏袒右肩。右膝著地。合掌向佛。白佛言。唯願世尊受我三月夏安居請。於我宮內。所有資財。供身之物。悉持供養。并遣醫王侍縛迦。療諸病苦。

爾時世尊默然而許。時王殷重請世尊已。禮佛而去。還至宮中。辦諸供具。於夏三月。而爲供養。爾時憍薩羅國勝光大王。聞影勝王請佛及僧。三月安居。種種供養。并大醫王侍縛迦供給湯藥。聞已作是思惟。彼是大國王。能以家資。及侍縛迦等。而爲供養。我今亦是。大國之主。世尊若來此國。我亦當以一切家資。及醫人阿帝耶。而爲供養。乃至世尊住王舍城。三月安居。作衣已竟。執持衣鉢。大衆圍遶。欲往室羅伐城。漸漸遊行。遂到彼國。給孤獨園。時勝光王聞佛來至。住給孤獨園。聞已往詣。到給孤獨園。見世尊已。稽首作禮。退坐一面。

爾時世尊爲王種種方便。說微妙法。示教利喜已。默然而住。時勝光王從座而起。偏袒右肩。雙膝著地。合掌向佛。白言。世尊。唯願世尊。及茲芻僧。受我三月安居請。總以一切資具。并醫人阿帝耶。而爲供養。

爾時世尊默然受請。時憍薩羅主勝光大王見佛許已。頂禮佛足。奉辭而去。還至宮中。辦諸供具。并遣醫人。於三月中。供給所須。供養於佛及茲芻僧。時勝光王爲性慈愍。每於晨朝。至毘訶羅。親禮佛足。問訊起居。